



# 入選 (小学生)

げんかんを

あけてびつくり

セミのうか

第二小学校 一年生 平 夢葉

審査委員 青梅市俳句連盟 菅原会長 講評

それはびつくりしますね。おうちの庭先か、あるいはどこか別荘地でしようか。庭先ならきつと来年も期待できます。セミは早いうちに羽化し、飛び立つのは翌朝とのことです。



青梅市書道連盟 栗原会長に御協力いただき、表彰式にて短冊をお渡ししました。



# 入選 (小学生)

みつけたよ

かいがらにかに

みのかさぎ

新町小学校 一年生 荒井 翔平

審査委員 青梅市俳句連盟 菅原会長 講評

海に行ったときのこと、と解釈しました。ふだんは見ないいろんなものを見つけています。かいがらにかに、それにみのかさぎです。みのかさぎ、これは近くの水族館かもしれません。



青梅市書道連盟 栗原会長に御協力いただき、表彰式にて短冊をお渡ししました。



# 入選 (小学生)

せんぷうき

わあっとしたら

わわわわわ

第四小学校 二年生 青木 彩羽

審査委員 青梅市俳句連盟 菅原会長 講評

せんぷうきに顔を近づけて「わあー」と言ったこと、あると思います。よく宇宙人みたいだという句があるのですか、下五を「わわわわわ」と思い切ったところがよかったです。



青梅市書道連盟 栗原会長に御協力いただき、表彰式にて短冊をお渡ししました。



# 入選 (小学生)

かぶとむし

おうちにこいよ

まってるぞ

藤橋小学校 二年生 宮野 柊

審査委員 青梅市俳句連盟 菅原会長 講評

買ってもらう約束はまだなのかもしれません。でも飛んででもいからとにかくおうちに来てくれ、というわけです。かぶとむし愛のあふれた一句です。買ってもらいましょう。



青梅市書道連盟 栗原会長に御協力いただき、表彰式にて短冊をお渡ししました。



# 入選 (小学生)

カナヘビは

トノサマバッタ

よくたべる

第四小学校 三年生 東 葵佑

審査委員 青梅市俳句連盟 菅原会長 講評

一読、カナヘビはペットなのかなと思いました。それはないでしょうね。トノサマバッタは大きいので、食べているのはもっと小型のバッタかもしれません。よく観察しました。



青梅市書道連盟 栗原会長に御協力いただき、表彰式にて短冊をお渡ししました。



# 入選 (小学生)

夏の海

ぱかんとわるぞ

すいかわり

新町小学校 三年生 永良 桐真

審査委員 青梅市俳句連盟 菅原会長 講評

近頃は少なくなったように感じますが、海辺でのすいかわりです。  
青い空に青い海、それに白い砂浜です。「ぱかんとわるぞ」がいいで  
すね。果たしてどうだったのでしょうか。

夏の海ぱかんとわるぞすいかわり

とうき





# 入選 (小学生)

「ただいま」と

トマトのような

赤い顔

若草小学校 四年生 宮崎 りつ

審査委員 青梅市俳句連盟 菅原会長 講評

本人というより兄弟姉妹のだれか、と解しました。たとえば外遊びをしていた妹か弟が、トマトのような赤い顔をして帰ってきたのかもしれない。本人も一緒、はありますね。

「ただいま」とトマトのような赤い顔

青梅市書道連盟 栗原会長に御協力いただき、表彰式にて短冊をお渡ししました。



# 入選 (小学生)

汗かいて

プシュツと開ける

缶ジュース

新町小学校 四年生 牧島 みあ

審査委員 青梅市俳句連盟 菅原会長 講評

ハイキングでしょうか何かのスポーツでしょうか、汗をかいてきての  
どもかわいてきました。そこで冷えた好みの缶ジュースを、プシュツと  
開けたのでした。おいしそうです。

汗かいてプシュツと開ける缶ジュース

みあ





# 入選 (小学生)

夏祭り

太鼓の音が

腹にドン

吹上小学校 五年生 水野 綺歩

審査委員 青梅市俳句連盟 菅原会長 講評

夏祭りもようやく戻ってきました。太鼓の音が腹にドン、佳境に入った祭の活気が、これで十分伝わります。屋台もにぎやかそうです。昼か夜かは、人それぞれの想像ですね。

夏祭り太鼓の音が腹にドン

きほ



# 入選 (小学生)

姉と母

ワクワク梅を

千す夏よ

霞台小学校 五年生 森田 ふたば

審査委員 青梅市俳句連盟 菅原会長 講評

作者のちよっぴり大人びた第三者的な観察眼というか冷静さが、  
なんともほほえましい一句です。お母さんとお姉さんが、また今年  
の夏もわくわくして梅干しにとりかかりました。



青梅市書道連盟 栗原会長に御協力いただき、表彰式にて短冊をお渡ししました。



# 入選 (小学生)

青い空

真っ赤に実る

ミニトマト

吹上小学校 六年生 海口 蒼介

審査委員 青梅市俳句連盟 菅原会長 講評

青い空と真っ赤なミニトマトのコントラスト、この句はそれにつき  
ます。風景のイメージはそれぞれですが、ミニトマトということから  
ベランダでのプランターかな、と思いました。

青い空真っ赤に実るミニトマト

そうすけ

青梅市書道連盟 栗原会長に御協力いただき、表彰式にて短冊をお渡ししました。



# 入選 (小学生)

和太鼓で

交差するバチ

汗まみれ

第二小学校 六年生 中野 桧児

審査委員 青梅市俳句連盟 菅原会長 講評

練習中それとも本番でしようか、バチを交差させながら大太鼓をたたいています。額には汗が光っています。光っている、というより汗まみれなのでした。集団で、かもしれませぬね。

和太鼓で交差するバチ汗まみれ

かいる

青梅市書道連盟 栗原会長に御協力いただき、表彰式にて短冊をお渡ししました。